

「アルプスがふたつ映えるまち」 ～駒ヶ根市～

駒ヶ根市は長野県の南部、伊那谷のほぼ中央に位置し、西に中央アルプス、東に南アルプスの雄大な山脈を望むことのできる「アルプスがふたつ映えるまち」です。

令和2年3月に国定公園に指定された中央アルプスの玄関口として、世界に誇れる中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイや、アルプス山麓の自然豊かな駒ヶ根高原、早太郎温泉郷など数多くの観光資源を有する山岳観光都市です。

ロープウェイを利用することで、麓から標高 2,600mほどの高山帯へ約1時間で行くことができます。氷河期の痕跡が残る千畳敷カールや、眼前に広がる大パノラマ、150種を超える高山植物など、中央アルプスの大自然を楽しむことができます。

また、中央アルプス山麓の駒ヶ根高原には、美肌の湯「早太郎温泉郷」や、本格派の方からファミリーまで楽しめるキャンプ場、駒ヶ根名物ソースかつ丼、信州そばをご堪能いただける飲食店も数多くございます。

さらに、中央アルプスからの伏流水が豊富にあることから、様々なお酒の醸造所があり、日本酒、地ビール、ワイン、ウィスキー、養命酒のリキュール類など、多種多様なお酒を楽しむことができます。

春は光前寺の水仙やしだれ桜、花桃の里などで咲き乱れ、夏は中央アルプスの高山植物や大自然を満喫でき、秋は山麓が赤く染まる紅葉やフルーツ、冬はロープウェイで行く雪山や満天の星空、アルプスを眺めながらの温泉などを楽しむことができます。四季を通じて楽しめる観光地です。

皆様ぜひ信州駒ヶ根へ「おいでなんしょ」

【協力、写真提供：駒ヶ根市観光協会】